

せ 終 世
よ わ 界
う ら を



「正しく生きる」完成披露上映×豪華座談会「芸術は世界を救えるのか」

秋山豊寛×ヤノベケンジ×孫家邦×福岡芳穂×北小路隆志

2015年2月22日① 開場 12:30/開演 13:00 京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)

チケット:一般 2,000円(前売 1,500円)/学生、シニア 1,500円(前売 1,000円) *シニアは60歳以上

ぶっちゃけどうなの！ 芸術で世界救えんの？ 滅ぼすの？

京都造形芸術大学から衝撃の映画が誕生。いま、日本が抱える様々な問題と正面から向き合った北白川派第五弾「正しく生きる」。これは「考えさせる」映画ではない。考えることから目を背けている人にその事実を「突きつける」映画だ。

今回、「正しく生きる」本邦初公開を迎えるとともに、「芸術」に携わるさまざまな分野のゲストを交えての討論会を開催。「芸術は世界を救えるのか」をテーマに、芸術を教える者として、あるいはものをつくるクリエイターとして、作家として…。芸術の持つ力・可能性、限界…芸術にまつわる問題についてしゃべり尽くす！

第一部／映画「正しく生きる」

美術家で大学教授の柳田(岸部一徳)は、放射性物質を組み込んだオブジェを制作展示することで無差別テロを画策する…

“とある大きな災害”をきっかけに、様々な事情を抱えたまま“愛”を求め疾走し始める人々。その姿を浮き彫りにしながら、漠然とした不安な時代である“現代”に「正しく生きる」とは何かを問いかける衝撃作。

京都造形芸術大学映画学科発、プロと学生が劇場公開映画を製作・公開する北白川派プロジェクト第五弾のワールドプレミア上映を開催。

第二部／座談会「芸術は世界を救えるのか」

京都造形芸術大学教授である秋山豊寛、ヤノベケンジと、映画プロデューサー・孫家邦、「正しく生きる」の監督・福岡芳穂、学生代表・上川周作、筒井楓生による座談会。司会進行は映画評論家・北小路隆志。2011年以降、混沌たる状況の続く現代日本において「芸術の力とは」「芸術は世界を救えるのか」という自省をも含んだ刺激的なテーマについて激論を交わす。

○秋山豊寛 (日本人初の宇宙飛行士・農家)

1942年6月東京生まれ。東京放送(TBS)に入社し、政治部記者、ワシントン支局長、外信部デスク、国際ニュースセンター長、報道局専任局長を歴任。1990年12月2日、日本人初の宇宙飛行士として、ソユーズ宇宙船に乗船し、9日間宇宙飛行。1995年に同社退社後、福島県で農業を営み、無農薬栽培やしいたげ栽培を実践するが、「原発難民」に。主な著書に「宇宙と大地」(岩波書店)、「農人日記」(新潮社)、「映と宇宙船」(ランダムハウス講談社)など。2011年11月より京都造形芸術大学芸術学部教授。

○ヤノベケンジ (現代美術家)

1965年大阪生まれ。1991年京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。1997年より、放射線感知器(アトムスーツ)を身にまといチェルノブイリを訪れる(アトムスーツ・プロジェクト)を敢行。その後21世紀の暮開けと共に、制作テーマを「リヴァイヴァル」へと移行し、近年では、彫刻人形(トラヤン)の巨大ロボットや、2009年には「第五福竜丸」をモチーフとする船(ラッキードラゴン)を制作し、火や水を用いた壮大なパフォーマンスを展開するなど能力的に発表を続けている。2011年以降、希望のモニュメント《サン・チャイルド》を国内外で巡回。現在、京都造形芸術大学芸術学部教授、クルトラファクトリー・ディレクター。

○孫家邦 (映画プロデューサー)

1961年大阪府生まれ。荒戸厚次郎事務所にて「どついたらぬん」(89年/阪本順治監督)等を企画。「夢二」(91年/鈴木清順監督)等をプロデュース。荒戸厚次郎事務所を離れ、1995年リトルモアに参画。1998年には「リトルモア MOVIES」として「ボルノスケー」(豊田利晃監督)、「プープーの物語」(渡辺謙作監督)等新人監督4人による新作映画を1年かけて製作・上映する。2003年、代表取締役就任。主な作品に「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」(07年/松岡司監督)、「ケンタとジュンとカコちゃんの国」(10年/大森立嗣監督)、「船を編む」(13年/石井裕也監督)など。

○北小路隆志 (映画評論家)

1962年京都府生まれ。早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。早稲田大学大学院経済研究科修士課程修了。新聞、雑誌、劇場用パンフレットなどで映画評や書評を中心に執筆。主な著書に「王家衝動の恋愛」、共著に「ひきずる映画」。「ゼロ年代+の映画」。「映画の政治学」。「ペドロ・コスタ 遠い部屋からの声」、編著に「(社会派シネマ)の戦い方」などがある。朝日新聞(東日本版)、読売などで連載中。京都造形芸術大学芸術学部准教授。

チケット： 一般 2,000円(前売 1,500円) / 学生、シニア 1,500円(前売 1,000円)

*シニアは60歳以上 *学生・シニアは要証明書類提示、未就学児のご入場はご遠慮ください

チケット取扱い： □京都芸術劇場チケットセンター tel.075-791-8240(平日10時~17時)

□劇場オンラインチケットストア *要事前登録(無料)

パソコン <http://www.k-pac.org/>

携帯電話 <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>

主催： 京都造形芸術大学映画学科 (tel.075-791-9353)

*車椅子をご利用のお客様・足の不自由なお客様は、お電話にてお申し込み、お問合せ下さい。

本作品は3月下旬より京都シネマにて公開予定です。

正しく 生きる

「正しく生きる」
完成披露上映

×

豪華座談会

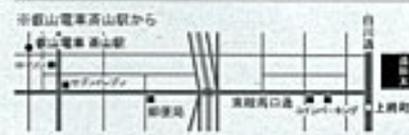
「芸術は世界を救えるのか」

2015年2月22日(日)

開場 12:30 / 開演 13:00

京都芸術劇場 春秋座
(京都造形芸術大学内)

京都市左京区北白川瓜生山 2-116



●JR-近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車。
「上終町・京都造形芸術大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

●京都市営地下鉄九条駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗り。
「上終町・京都造形芸術大前」下車(約15分)

●京阪電車出町柳駅から
創山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。